

県営都市公園経営基本構想・経営基本計画の進捗

1 県営都市公園経営基本構想・経営基本計画の進捗状況

(1) 経営基本構想の方針

- ・ 利活用を中心とした経営型の管理運営
- ・ 施設の適正な維持管理
- ・ 安全、安心を目指した公園管理

(2) 経営基本構想の目的

- ・ より多くの県民に快適に利用してもらうための「利用者満足度の向上」
- ・ より質の高いサービスを最少の経費で提供するための「効率的で効果的な運営」
- ・ 経営型のシステムを公園の管理運営に導入し基本計画を推進する「利用の増進」
- ・ 公園利用者に安全・安心な公園施設を提供するための「安心・安全の確保」

(3) 経営基本構想と経営基本計画の進捗状況

・ 利用者数

令和4年度はまだコロナウイルス感染症対策の影響を受けているが、平成30年度の実績では、草薙総合運動場、愛鷹広域公園、小笠山総合運動公園、浜名湖ガーデンパークで令和5年度目標を達成していた。引き続き、提供サービスの見直しなどに取り組んで、各公園ごとの目指すべき方向に沿って運営を行う。

・ 利用者満足度

令和4年度の実績では、草薙総合運動場と小笠山総合運動公園、富士山こどもの国の3公園で令和5年度目標を達成している。他の公園でも、令和3年度以前に目標を達成したり、近い実績値になった年度があり、各園の取り組みが評価されていると考える。

・ 安全・安心を目指した公園管理

小笠山総合運動公園エコパアリーナの特定天井耐震工事や、浜名湖ガーデンパーク屋外ステージの幕屋根改修工事、富士山こどもの国昇降用スロープカーの更新工事など、老朽化や安全対策を含めて、各施設の状況や予算の状況に応じて適切な維持管理に取り組んでいる。

・ 基本計画の取り組み

第1期計画で示された「戦略展開と具体的施策」を「パークマネジメントカルテ」として毎年度作成し、各年度のPDCAサイクルに生かしている。

・ 外部評価結果

外部評価委員による各公園の令和4年度の外部評価結果では、2公園でA評価、5公園でA-（Aマイナス）評価であり、全公園が「十分満足出来る」としてA評価をいただいている。